

7. 全村區分現況  
 一區 下久保  
 二區 上久保  
 三區 中ノ畑、藪澤、草久  
 四區 古厩、入、鹿ノ入、八綱  
 五區 中内、兩ノ手、内倉  
 六區 古越路、茶合、半繩、馬返、押越、小槍  
 七區 白井平、葛平、川中島  
 八區 下、向、滝ヶ花、原山、松手、十ヶ峯原

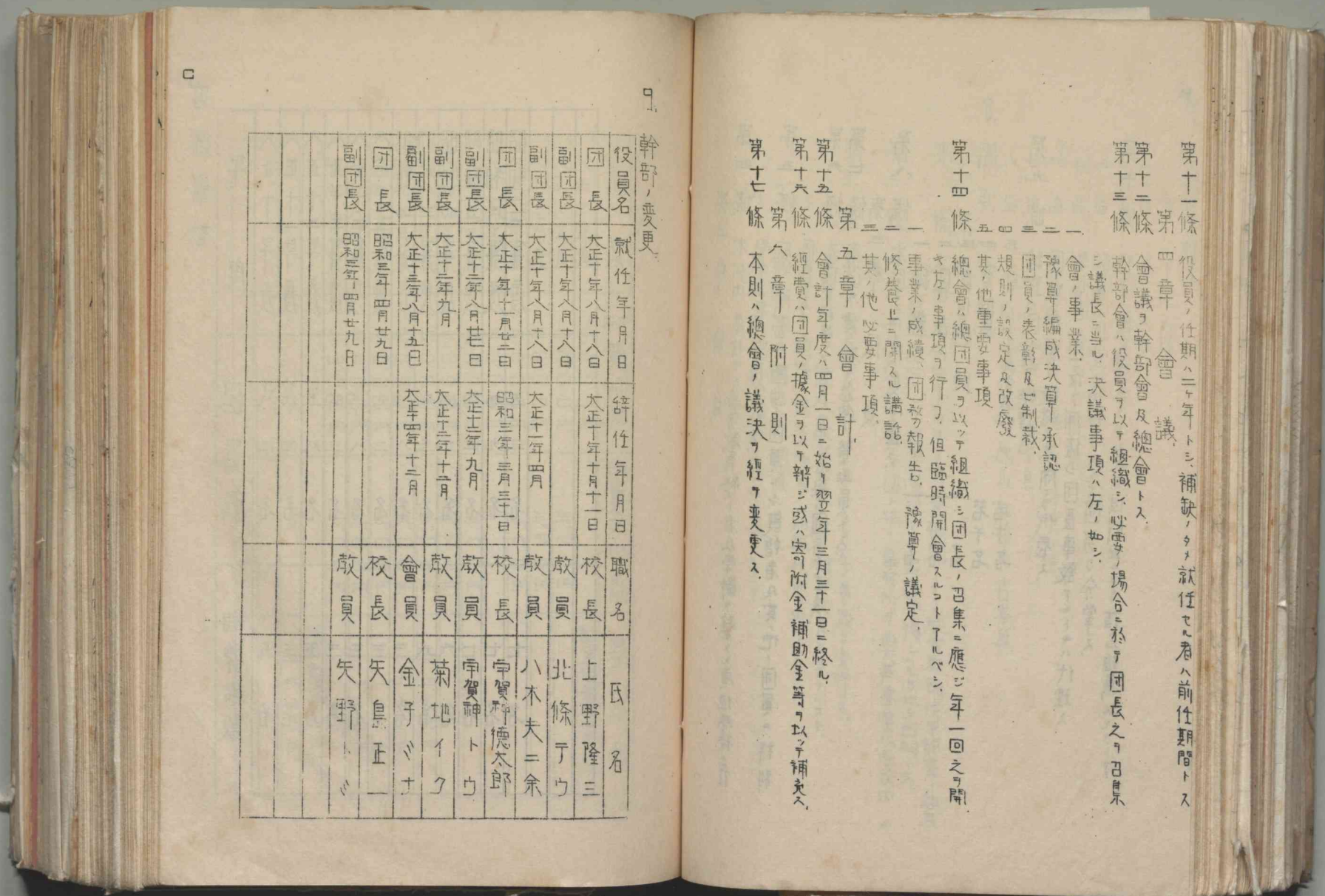
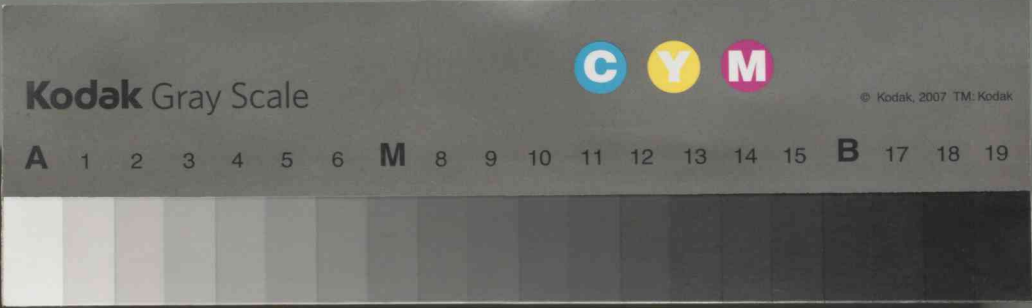
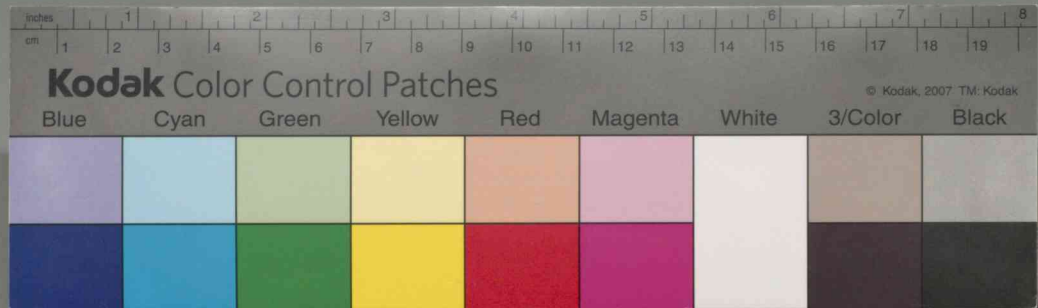
8. 團則  
 第一章 總則  
 第一條 本團ハ本村女子青年ノ修養機關トナリ、教育勸誘、成甲證書ノ趣旨ヲ奉戴シ、處女ヲシテ良妻賢母タルノ素養ヲ得シムルヲ以テ目的トス、  
 第二條 本團ハ西大芦村女子青年團ト稱シ、事務所ヲ西大芦高野小学校内ニ置ク、  
 第三條 本團ハ第一條ノ目的ヲ達セシガため、左ノ事項ヲ実行ス、  
 一 通常團員ハ小学校ノ教育ヲ卒業シ、應ニ補習教育ヲ受ケルコト、  
 二 講習會ヲ開催シ、婦女ノ須要ナル知識技能ヲ授ケルコト、  
 三 修養ニ關スル講習會ヲ開催スルコト、  
 四 風紀ノ改善、敬老、慈善等ニ努力スルコト、

第二章 會員  
 第四條 本村内ニ居住セル義務教育終了者及學齡ヲ超スル者、但學校ニ在學中ノ者ハ此ノ限ニ非ズ、  
 第五條 前條ノ團員ヲ通常團員トシ、既婚者及其他ノ團員ヲ特別團員トナス、  
 第六條 本團ニ功勞アリタル者ハ名譽團員トナス、  
 第七條 本團ヲ贊助スル者ヲ贊助員トナス、  
 第八章 役員  
 一 總務 一名  
 二 團長 一名  
 三 副團長 一名  
 四 贊助員 若干名  
 五 幹事(支那長) 若干名  
 第九條 總理ハ團務ヲ總理ス、  
 團長ハ團務ヲ統括シ本團ヲ代表ス、  
 副團長ハ團長ヲ補助シ團長事裁アレルトキハ代理ス、  
 幹事ハ團長ノ指揮ヲ受ケ團務ヲ分管ス、  
 役員ハ選舉ニヨリ決定ス、但時宜ニヨリ指名推薦スルコトナラハシ、

第十條







9.

幹部、変更

役員名	就任年月日	辞任年月日	職名	氏名
団長	大正十年八月十八日	大正十年十月十一日	校長	上野隆三
副団長	大正十年八月十八日		教員	北條テウ
副団長	大正十年十一月廿二日	大正十年四月	教員	八木夫二余
副団長	大正十年八月廿日	昭和三年三月三十日	校長	宇賀神徳太郎
副団長	大正十年九月	大正十年十月	教員	宇賀神トウ
副団長	大正十年八月五日	大正四年十二月	會員	菊地イウ
副団長	昭和三年四月廿九日		校長	金子シナ
副団長	昭和三年四月廿九日		教員	矢島正一
副団長	昭和三年四月廿九日		教員	矢野トシ

第十一條 役員、任期ハ二年トシ、補缺、タテ就任セズ者ハ前任期間トス

第十二條 會議ヲ幹部會及總會トス

第十三條 幹部會ハ役員ヲ以テ組織シ、必要ノ場合ニ於テ團長之ヲ召集シ、議長ニ當リ、決議事項ハ左ノ如シ

第十四條 豫算、編成決算承認、團員、表彰及制裁、規則、設定及改廢、其、他重要事項

第十五條 總會ハ總團員ヲ以テ組織シ、團長ノ召集ニ應ジ一年一回之ヲ開キ、左ノ事項ヲ行フ、但臨時開會スルコトアリベシ

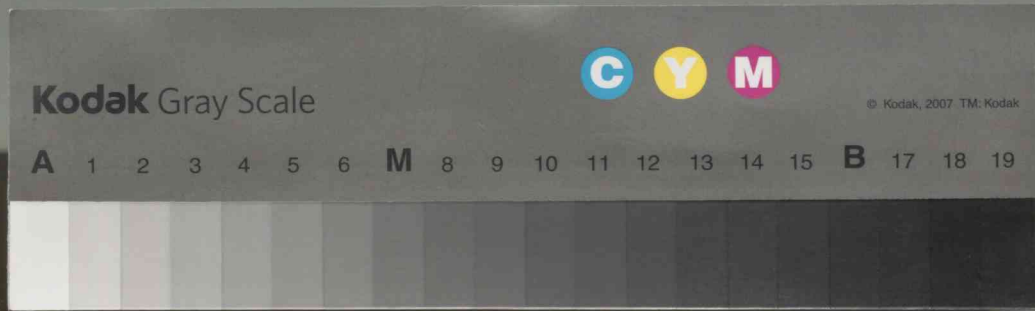
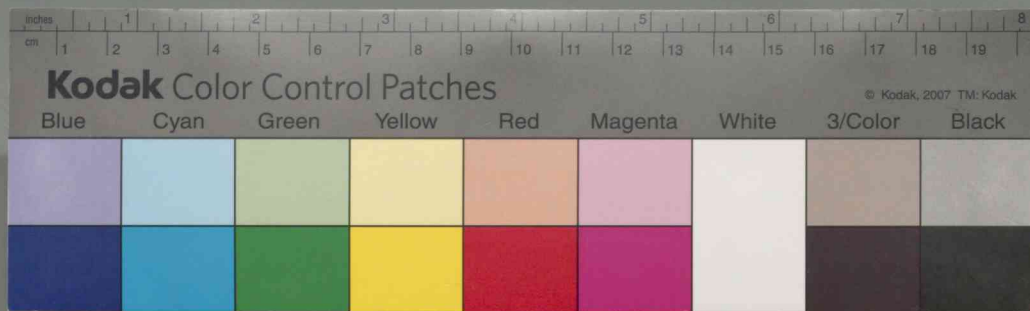
第十六條 專業、成績、團務報告、豫算、議定、修養上ニ關スル講話、其、他重要事項

第十七條 會計、會計年度ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十八條 經費ハ團員、據金ヲ以テ辦シ、或ハ寄附金補助金等ヲ以テ補充ス、本則ハ總會、議決ヲ經テ變更ス







II. 財 産												10. 團 員 數																															
年 度						村 費 補 助						團 員 及 其 他 寄 附						基 本 金																									
昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	大正十五年	大正十四年	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	大正十五年	大正十四年	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	大正十五年	大正十四年	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年								
三,四〇〇	三,四〇〇	三,六〇〇	三,七〇〇	三,七〇〇	三,五〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	四,〇〇〇	三,〇〇〇	二,五〇〇	二,〇〇〇	七,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	九,〇〇〇	三,〇〇〇	四,五〇〇	一,八〇〇	三,五〇〇	三,〇〇〇				現在, 野邊野(金)合計 三,四〇〇 三,四〇〇 三,四〇〇 三,四〇〇 三,四〇〇 三,四〇〇	勸業債券(金)合計 二,〇五九 六七一 六七一 六七一 六七一 六七一	五	三	三	三	三	三	五	三	三	三	三	三	五	三	三	三	三	三
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名									















昭和四年度		昭和		三年度		昭和二年	
八 二	八 九	七 一	六 一	五 一	四 一	四 一	三 一
九 七	九 五	一 〇	一 五	一 四	一 三	一 二	一 一
眞禰講習会	生禰講習会	眞禰講習会	生禰講習会	眞禰講習会	生禰講習会	眞禰講習会	生禰講習会
五日向	五日向	五日向	五日向	五日向	五日向	五日向	五日向
講師湯澤キユ氏	講師湯澤キユ氏	講師湯澤キユ氏	講師湯澤キユ氏	講師湯澤キユ氏	講師湯澤キユ氏	講師湯澤キユ氏	講師湯澤キユ氏



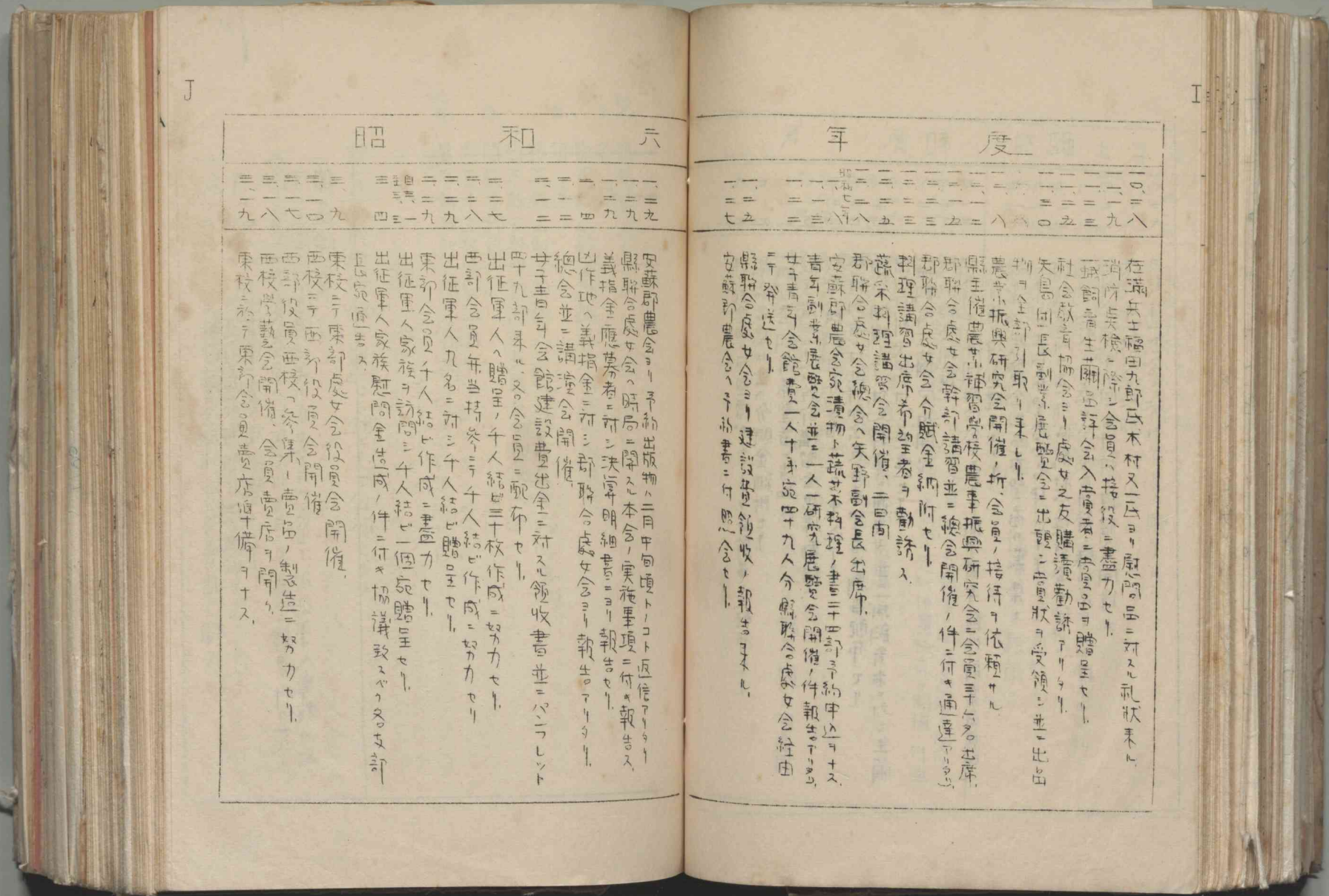
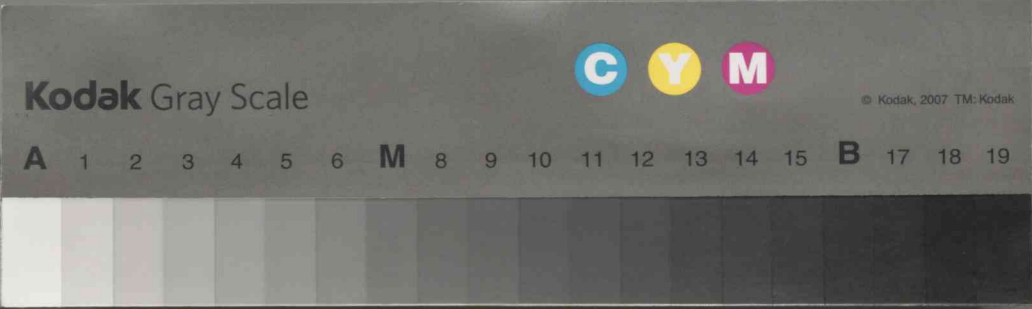




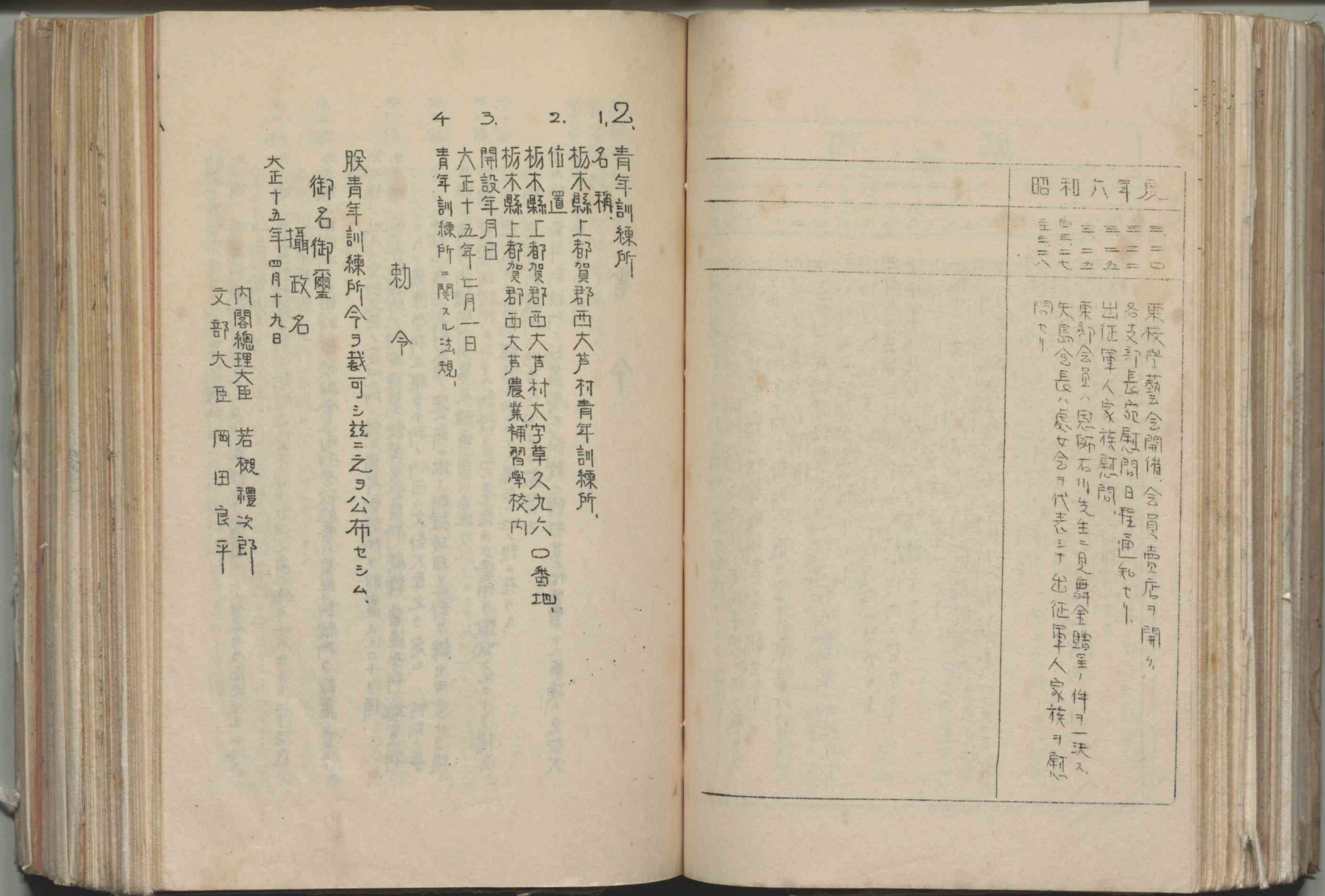
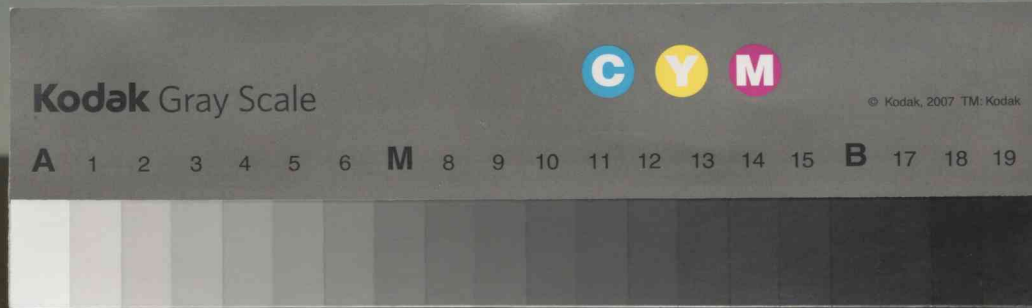
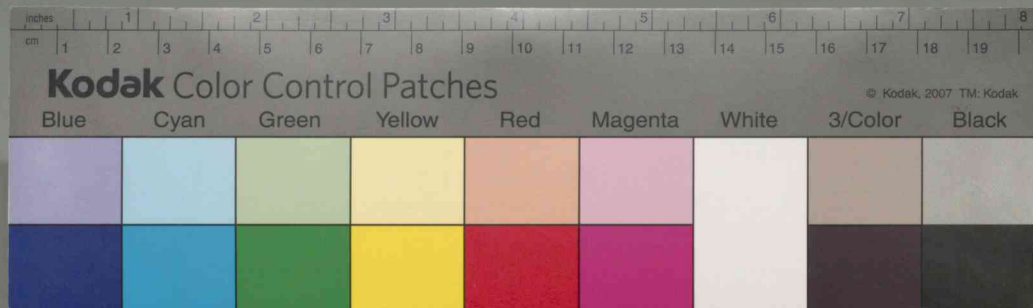












- 1, 2. 青年訓練所
- 1. 名 稱
- 2. 栃木縣上都賀郡西大芦村青年訓練所
- 3. 位 置
- 4. 栃木縣上都賀郡西大芦村大字草久九六〇番地
- 5. 栃木縣上都賀郡西大芦農業補習學校内
- 6. 開設年月日
- 7. 大正十五年二月一日
- 8. 青年訓練所ニ關スル法規

勅 令

股青年訓練所今ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

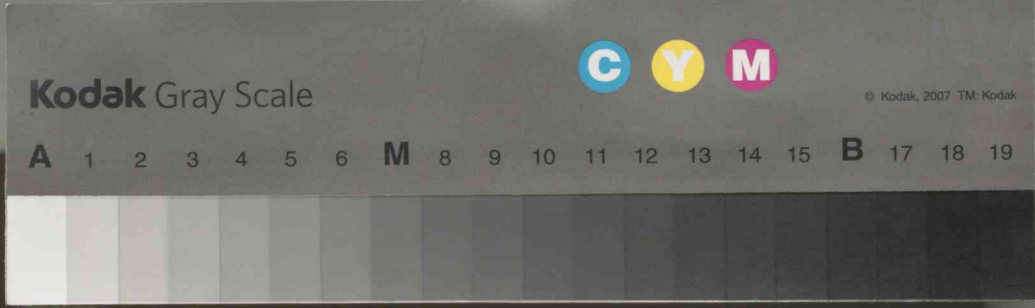
御名 御璽  
 攝政 名  
 大正十五年四月十九日  
 内閣總理大臣 若槻禮次郎  
 文部大臣 岡田良平

昭和六年庚	
昭	和
三三〇	三三〇
三二五	三二五
三二〇	三二〇
三一五	三一五
三一〇	三一〇
三〇五	三〇五
三〇〇	三〇〇
二九五	二九五
二九〇	二九〇
二八五	二八五
二八〇	二八〇
二七五	二七五
二七〇	二七〇
二六五	二六五
二六〇	二六〇
二五五	二五五
二五〇	二五〇
二四五	二四五
二四〇	二四〇
二三五	二三五
二三〇	二三〇
二二五	二二五
二二〇	二二〇
二一五	二一五
二一〇	二一〇
二〇五	二〇五
二〇〇	二〇〇
一九五	一九五
一九〇	一九〇
一八五	一八五
一八〇	一八〇
一七五	一七五
一七〇	一七〇
一六五	一六五
一六〇	一六〇
一五五	一五五
一五〇	一五〇
一四五	一四五
一四〇	一四〇
一三五	一三五
一三〇	一三〇
一二五	一二五
一二〇	一二〇
一一五	一一五
一一〇	一一〇
一〇五	一〇五
一〇〇	一〇〇
九五	九五
九〇	九〇
八五	八五
八〇	八〇
七五	七五
七〇	七〇
六五	六五
六〇	六〇
五五	五五
五〇	五〇
四五	四五
四〇	四〇
三五	三五
三〇	三〇
二五	二五
二〇	二〇
一五	一五
一〇	一〇
五	五
〇	〇

東支那支隊司令部開備 各支隊長宛慰問日程通知セリ  
 出征軍人家族慰問  
 東支那支隊司令部開備 各支隊長宛慰問日程通知セリ  
 出征軍人家族慰問  
 東支那支隊司令部開備 各支隊長宛慰問日程通知セリ  
 出征軍人家族慰問







勅令第七十号 青年訓練所令

第一條 青年訓練所ハ青年ノ心身ヲ鍛鍊シテ國民タルノ資實ヲ向レセシムルヲ以テ目的トス。

第二條 青年訓練所ニ於テ訓練ヲ受フルコトヲ得ル者ハ概テ十六才ヨリ二十才迄ノ男子トス。

第三條 市町村、市町村學校組合及町村學校組合ハ青年訓練所ヲ設置スルコトヲ得。

第四條 私人ハ文部大臣ノ定ル所ニ依リ青年訓練所ヲ設置スルコトヲ得。

第五條 青年訓練所ノ訓練項目ハ修身及公民科、敎練、普通學科、職業科トス。普通學科及職業科ノ科目ハ文部大臣之ヲ定ム。特別ノ事情アリ者ハ文部大臣ノ定ル所ニ依リ訓練項目ノ一部ヲ課セサルコトヲ得。

第六條 青年訓練所ニ主事及指導員ヲ置ク。

第七條 青年訓練所ニ於テハ訓練ヲ受ケル者ヨリ費用ヲ徴收スルコトヲ得ス。但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス。

第八條 青年訓練所ハ地方長官之ヲ監督ス。

第九條 青年訓練所ノ設置廢止、訓練ノ課程其ノ他必要ナル事項ハ文部大臣之ヲ定ム。

省 令

文部省令第十六号  
青年訓練所規程左ノ通定ム。  
大正十五年四月二十日  
文部大臣 岡田 良一

青年訓練所規程

第一條 青年訓練所ノ訓練期間ハ四年トス。

第二條 青年訓練所ニ入ルコトヲ得ル者ハ前年十一月三十日ニ於テ十六才以上十七才未満ノ者トス。但シ特別ノ事情アリ者ハ十七才以上ニシテ入ルコトヲ得。

第三條 青年訓練所ノ入所期ハ毎年一月トス。但シ特別ノ事情アリ者ハ中途之ヲ入所セシムルコトヲ得。

第四條 青年訓練所ノ訓練項目ハ普通學科並職業科ノ科目及其程度ハ高等小學校卒業ノ程度ヲ基準トシ地方ノ情况ニ應ジ實際生活ニ適切ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授ケルモノトス。

第五條 青年訓練所ノ訓練時數ハ四年ヲ通シテ修身及公民科百時、敎練四百時、普通學科二百時、職業科百時ヲ下ラサルモノトス。

第六條 市町村、市町村學校組合、又ハ町村學校組合ノ区域内ニ於テ青年訓練ヲ受フルコトヲ得ル者概テ其ノ区域内ノ公立實業補習學校ニ在學シ且地方長官ニ於テ当該實業補習學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認めル場合ハ当該實業補習學校ヲ以テ青年訓練所ニ充ツルコトヲ得。





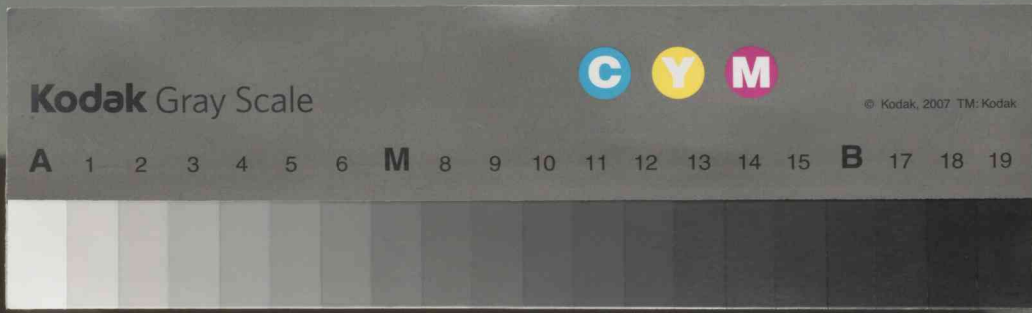


第七條 現ニ學校ニ在學スル者若ハ相當ノ學力アリト認メラレタル者又ハ特別ノ事由アリシ者ニ對シテハ一部ノ訓練項目ヲ課セザルコトヲ得。  
 第八條 現ニ學校ニ在學シ地方長官ニ於テ青年訓練所ノ課程ト同等以上ノ認めル課程ヲ修ムル者ハ之ヲ青年訓練所ノ訓練ヲ受ル者ト看做ス。  
 第九條 公立青年訓練所ハ当該市町村、市町村小學校組合又ハ町村小學校組合ノ区域内ニ居住スル者ヲ入所セシムルヲ常例トス。  
 第十條 公立青年訓練所ハ実業補習學校又ハ小學校ニ併置スルヲ常例トス。  
 第十一條 青年訓練所ノ訓練ハ土地ノ情況ニ應ジ適當ナル季節ヲ選ビテ之ヲ行フコトヲ得。  
 第十二條 私人ノ工場、鉱山、商店等ニ於テ青年訓練ヲ受ルコトヲ得ル者ヲ多教ニ使傭スル場合ニ限リ青年訓練所ヲ設置スルコトヲ得。  
 第十三條 青年訓練所ヲ設置セムトキハ左記事項ヲ具シ公立青年訓練所ニテ之ヲ管理スル者ニ於テ私立青年訓練所ニ於テハ其ノ設立者ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受フベシ。  
 一 名稱  
 二 規程  
 三 設置  
 四 青年訓練ヲ受ル者ノ概數  
 五 開設年月日  
 六 經費及維持ノ方法

附則  
 大正十五年ニ限リ大正十五年七月一日迄ニ入所シタル者ハ同年一月入所シタルモノト看做ス。







D

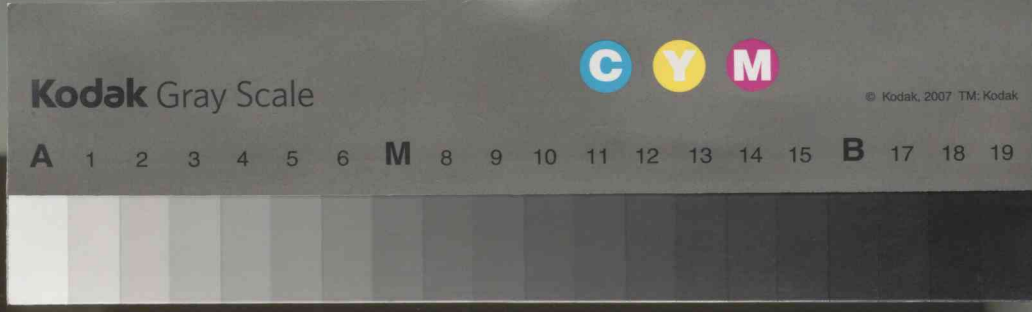
昭和六年四月十五日現在		昭和五年四月十五日現在		昭和四年	
指導員	主事	指導員	主事	指導員	主事
三五円	二〇円	三五円	四〇円	三五円	三〇円
歩兵伍長	小學校本科正教員	歩兵伍長	小學校本科正教員	歩兵伍長	歩兵上等兵
古澤正直	熊倉盛男	古澤正直	矢島正一	古澤正直	神山吉郎
四年二月	三年	三年二月	三年九月	二年九月	二年九月

5 職員

昭和二年度		大正十五年度		年度	職名	年俸	資格	氏名	勤務年限
指導員	主事	指導員	主事						
三〇円	四〇円	三〇円	四〇円	三〇円	四〇円	三〇円	小學校本科正教員	宇賀神徳太郎	六月
補習學校教諭	小學校本科正教員	補習學校助教諭	歩兵上等兵	三〇円	三〇円	三〇円	小學校本科正教員	宇賀神功	六月
恩田貢	矢島正一	神山吉郎	歩兵上等兵	三〇円	三〇円	三〇円	小學校本科正教員	神山吉郎	六月
二年九月	一年十一月	一年七月	歩兵上等兵	三〇円	三〇円	三〇円	小學校本科正教員	大橋幸松	六月
			歩兵上等兵	三〇円	三〇円	三〇円	小學校本科正教員	宇賀神徳太郎	六月
			歩兵上等兵	三〇円	三〇円	三〇円	小學校本科正教員	宇賀神功	六月







### 生徒数

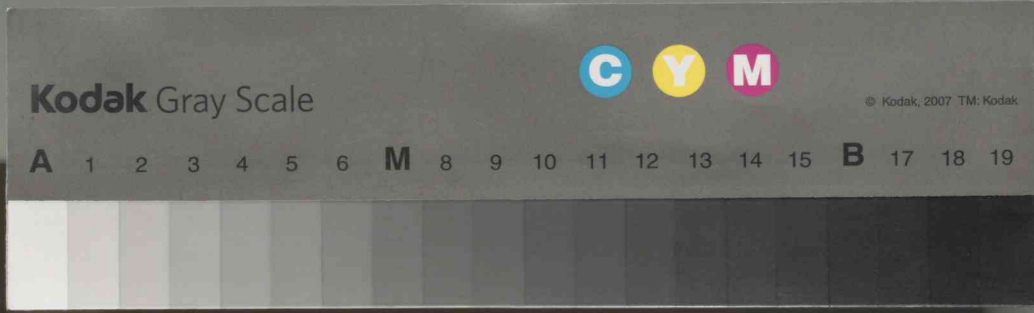
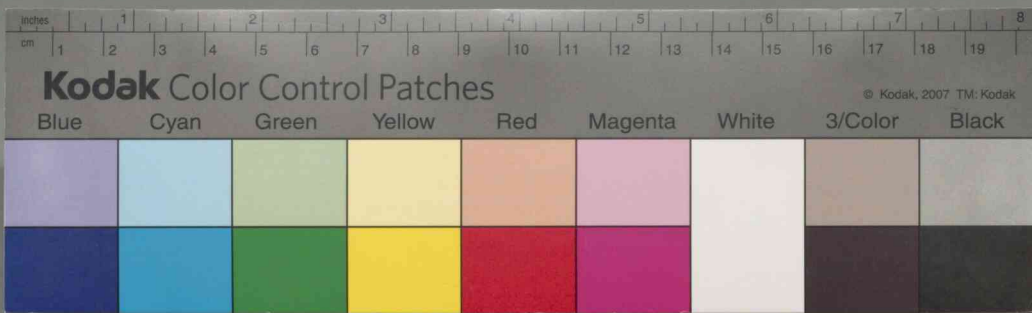
年度	昭和七年四月十五日現在	昭和六年四月十五日現在	昭和五年四月十五日現在	昭和四年四月十五日現在	昭和三年一月十五日現在	昭和二年一月十五日現在
第一学年生徒	5	8	10	14	15	16
第二学年生徒	4	6	9	16	15	15
第三学年生徒	3	5	7	11	11	10

単位一人

年度	職名	手当	資格	氏名	勤務年限
昭和七年四月十五日現在	主事	二〇四	小学校本科正教員	矢島正一	四年
	指導員	一五四		熊倉盛男	一年十月
		一五四	補習學校教諭	廣瀬正佐久	一年十月
		三五四	歩兵上等兵	神山吉郎	五年九月
		三五四	歩兵伍長	大貫西一	





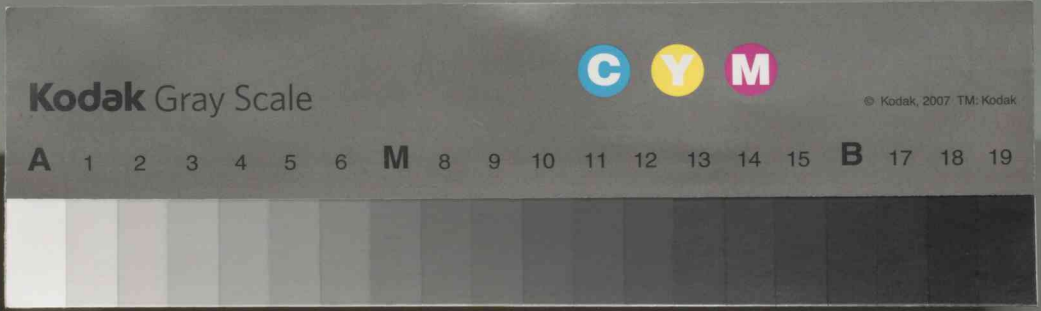


F		E	
最近ニ於ケル入所及ビ出席率		修了者調	
年 月 日	平均入所歩合	修了年月日	修了者人員數
昭和五年九月末日調	九五%	大正十五年十二月五日	一五名
昭和六年六月末日調	七五%	昭和二年十二月十五日	二名
昭和六年九月末日調	八三%	昭和三年十二月二十日	四名
昭和七年九月末日調	六八%	昭和四年十二月二十三日	五名
		昭和五年十二月十日	四名
		昭和六年度	五名
		昭和七年一月十六日	二名
	平均出席歩合		
	七〇%		
	七〇%		
	七一%		
	八一%		

〔昭和八年二月六日現在〕



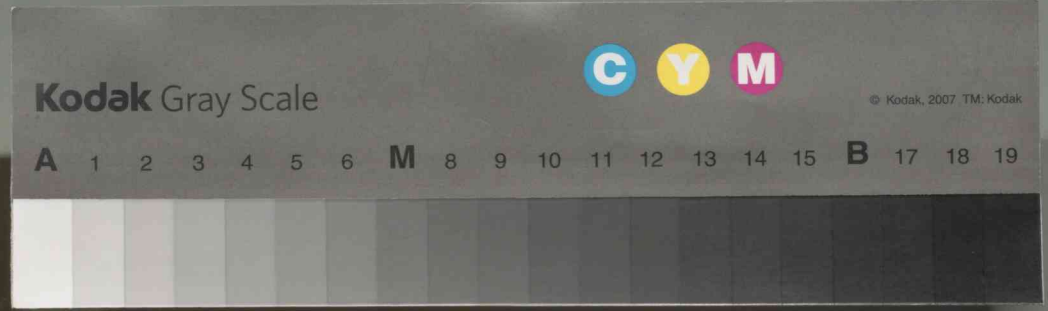




昭和三年十月二十七日		昭和三年十月五日		昭和三年九月二十三日		昭和三年九月二十三日		昭和三年九月二十三日		昭和三年九月二十三日		昭和三年九月二十三日		昭和三年九月二十三日		昭和三年九月二十三日		昭和三年九月二十三日		昭和三年九月二十三日															
查閱官	官氏名	訓練所名	場所	查閱官	官氏名	訓練所名	場所	查閱官	官氏名	訓練所名	場所	查閱官	官氏名	訓練所名	場所	查閱官	官氏名	訓練所名	場所	查閱官	官氏名	訓練所名	場所	查閱官	官氏名	訓練所名	場所	查閱官	官氏名	訓練所名	場所	查閱官	官氏名	訓練所名	場所
步兵少佐	榎本 宮	本村訓練所 東大芦訓練所	東大芦併置校	步兵少佐	飯田延太郎	本村訓練所	西大芦高等小學校	步兵少佐	石川吉郎	本村訓練所	西大芦高等小學校	步兵少佐	石川吉郎	本村訓練所	西大芦高等小學校	步兵少佐	石川吉郎	本村訓練所	西大芦高等小學校	步兵少佐	石川吉郎	本村訓練所	西大芦高等小學校	步兵少佐	石川吉郎	本村訓練所	西大芦高等小學校	步兵少佐	石川吉郎	本村訓練所	西大芦高等小學校	步兵少佐	石川吉郎	本村訓練所	西大芦高等小學校
二八五円	九一円	二八五円	一六五円	二八五円	九一円	二八五円	一六五円	二八五円	九一円	二八五円	一六五円	二八五円	九一円	二八五円	一六五円	二八五円	九一円	二八五円	一六五円	二八五円	九一円	二八五円	一六五円	二八五円	九一円	二八五円	一六五円	二八五円	九一円	二八五円	一六五円	二八五円	九一円	二八五円	一六五円







3 父兄母姉會

△ 西大芦尋常小學校東校母姉會

1. 創立記事  
 大正六年三月二十八日卒業證書授與式舉行後來賓父兄ノ向ニ於テ母姉會ヲ創立シ教育ノ向上發展ニ資セントシテ起リ、追テ協議會ヲ開キ相談セント決ス、  
 大正六年四月十三日前項、決ニヨリテ協議會ヲ開キ準則ヲ定メ、各組發起人ニ於テ會員ヲ募集シ重キテ三月十日協議會ヲ開クコトニ定ム、  
 大正六年四月三十日協議會ヲ開クコトニ定ム、  
 大正六年五月八日會式ヲ舉行ス、茲ニ母姉會成立ス、

2. 會 則

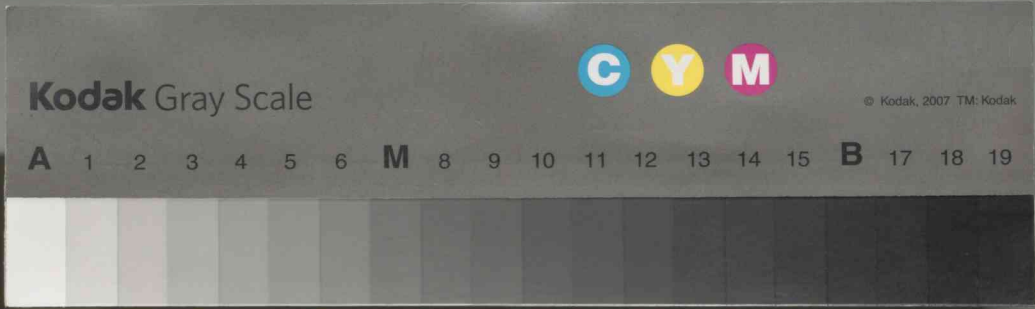
第一章 名稱及會員  
 第一條 本會ハ西大芦尋常小學校東校母姉會ト稱ス、  
 第二條 本會ハ西大芦尋常小學校東校通學區内ノ母姉ヲ以テ組織ス、  
 第三條 本會ハ學校ト家庭トノ連絡ヲ計リ教育ヲ向上セシメ又兼テ會員ノ修養ヲ目的トス、

第二章 事業  
 第一條 本會ハ第一條ノ目的ヲ果サントシテ左ノ事業ヲナス、  
 第一項 教育講話會、  
 第二項 兒童學藝演習會、  
 第三項 兒童講話會ニ附隨シテ或ハ獨立シテ兒童ノ學藝演習會ヲ開キ會員ハ之ヲ觀シテ兒童ノ向學心ヲ養育スルコト、  
 第四項 會員ハ農閑ヲ利用シテ學校ヲ參觀ラナスコト、  
 第五項 會員相互ニ懇約ヲ行ヒテ急ニシテ就學及出席ノ獎勵ヲナスコト、  
 第六項 区内會員ヲ左ノ十一組ニ分ケ各組長ヲ設ケテ組ノ事務ヲ所理ス、

第三章 組  
 第一組 下大久保ノ下  
 第二組 下大久保ノ上  
 第三組 上大久保ノ下  
 第四組 上大久保ノ上  
 第五組 草久下ノ上  
 第六組 草久下ノ下  
 第七組 草久中ノ烟  
 第八組 草久古鹿ノ上  
 第九組 草久鹿ノ下  
 第十組 草久鹿ノ上  
 第十一組 草久鉾ノ上







4 事業録

年月日	記
大正六年五月八日	總會及講演會
大正六年九月十四日	各役員、廿七日役員會開催、件通知ス。
大正七年三月廿五日	役員會開催
大正七年三月廿七日	柴田君、石原君、昨日、役員會、議事ヲ通知ス。
大正七年三月廿八日	各組長、三月廿二日總會、附並ニ、各組長、議事ヲ通知ス。
大正七年四月一日	岩崎君、三月廿二日、附並ニ、各組長、議事ヲ通知ス。
大正七年四月六日	石崎君、三月廿二日、附並ニ、各組長、議事ヲ通知ス。
大正七年四月十日	福田君、三月廿二日、附並ニ、各組長、議事ヲ通知ス。
大正七年四月十五日	福山君、三月廿二日、附並ニ、各組長、議事ヲ通知ス。
大正八年四月廿日	總會、三月廿二日、附並ニ、各組長、議事ヲ通知ス。
大正八年十月廿日	總會、三月廿二日、附並ニ、各組長、議事ヲ通知ス。
大正八年十一月十日	總會、三月廿二日、附並ニ、各組長、議事ヲ通知ス。

3 會員數

大正六年五月八日  
大正十五年十二月十七日現在 百六十七人

以上

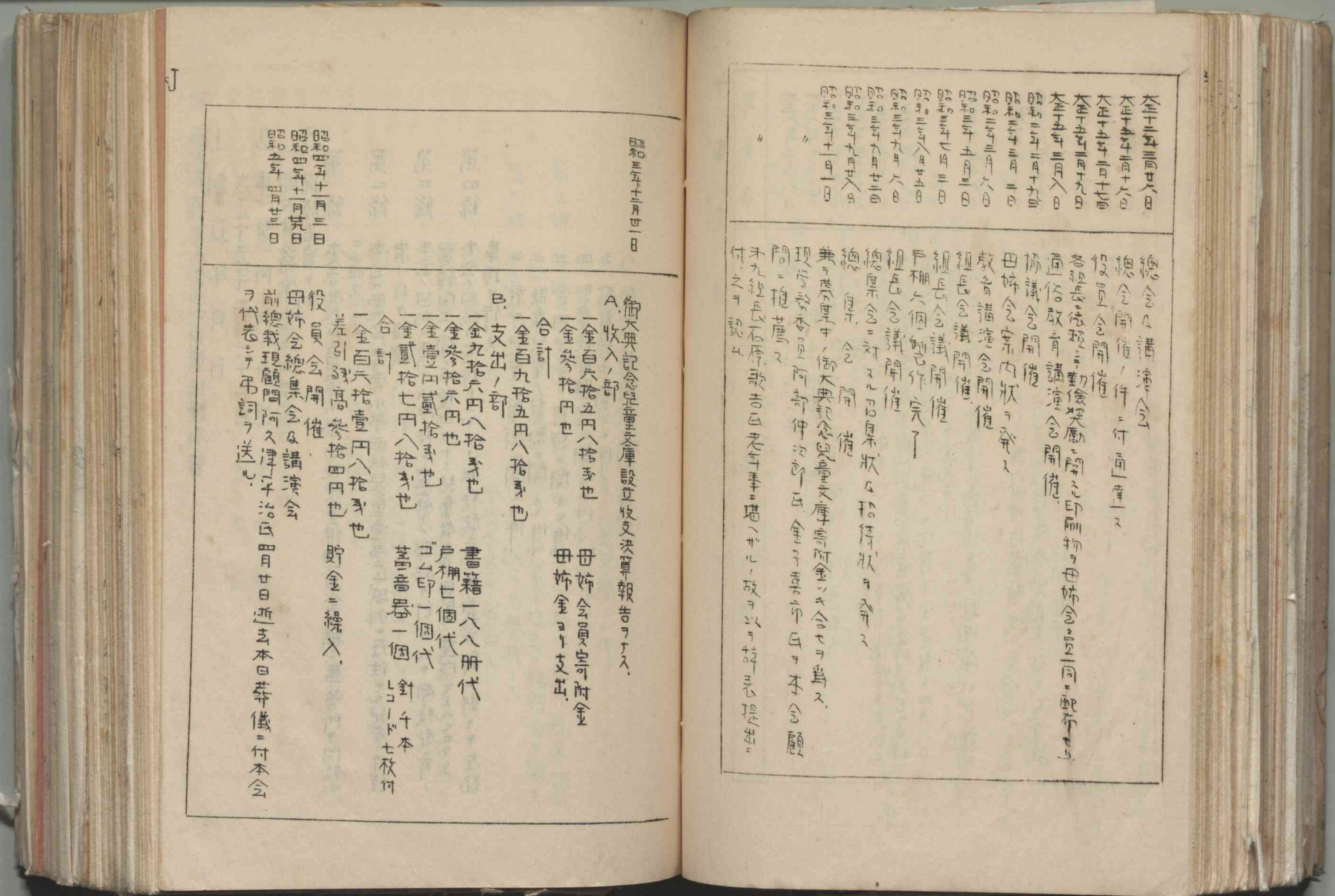
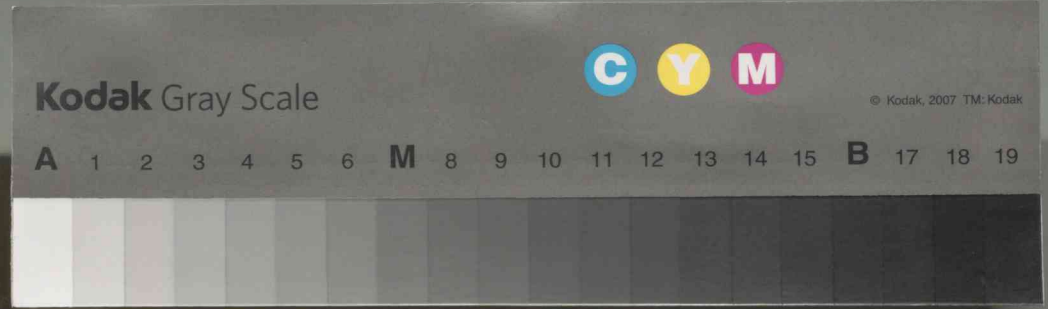
第五 役員

本會、事務ヲ所理スルヲ、總裁、會長、副會長、各一名、幹事若干名ヲ置ク。總裁ハ、會務ヲ總攬シ、本村長ヲ推戴ス。會長ハ、會務ヲ所理シ、副會長、幹事ハ、會長ヲ助ケ、會長ハ、本校長ニ本會、事務ヲ贊助シ、本校職員ヲ推戴ス。本會、事務ニ賛同補助ヲ與ヘシ有志ヲ顧問ニ推薦ス。役員會、總裁、會長、副會長、幹事、組長、顧問ヲ以テ組織ス。役員、任期ハ、別ニ之ヲ定メ、若シ缺員シ、場合ハ、役員會之ヲ選舉ス。役員會、經費、會費、ヨリ、拾錢以下ノ會費ヲ徵集シ、本會、經費ニ充ツ、場合ニヨリテ有志、寄附ヲ仰ケ、コトアルヘシ。

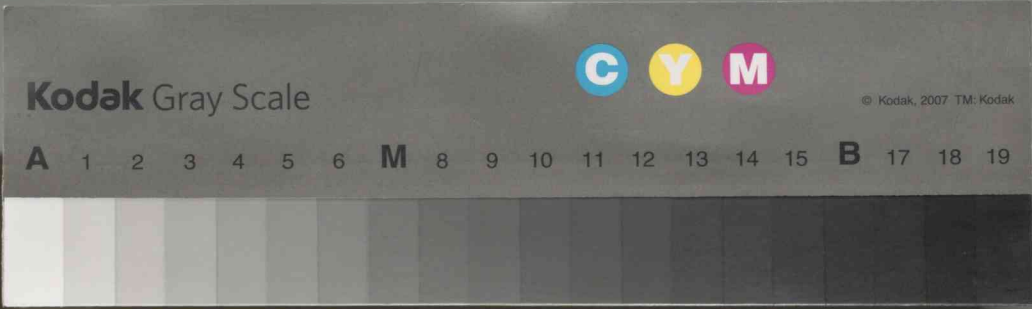
第十條 附則  
會則、變更追加ヲ要スル時、役員會ノ協議ヲ經テ總會ノ承認ヲ受メ、スルモノトス。







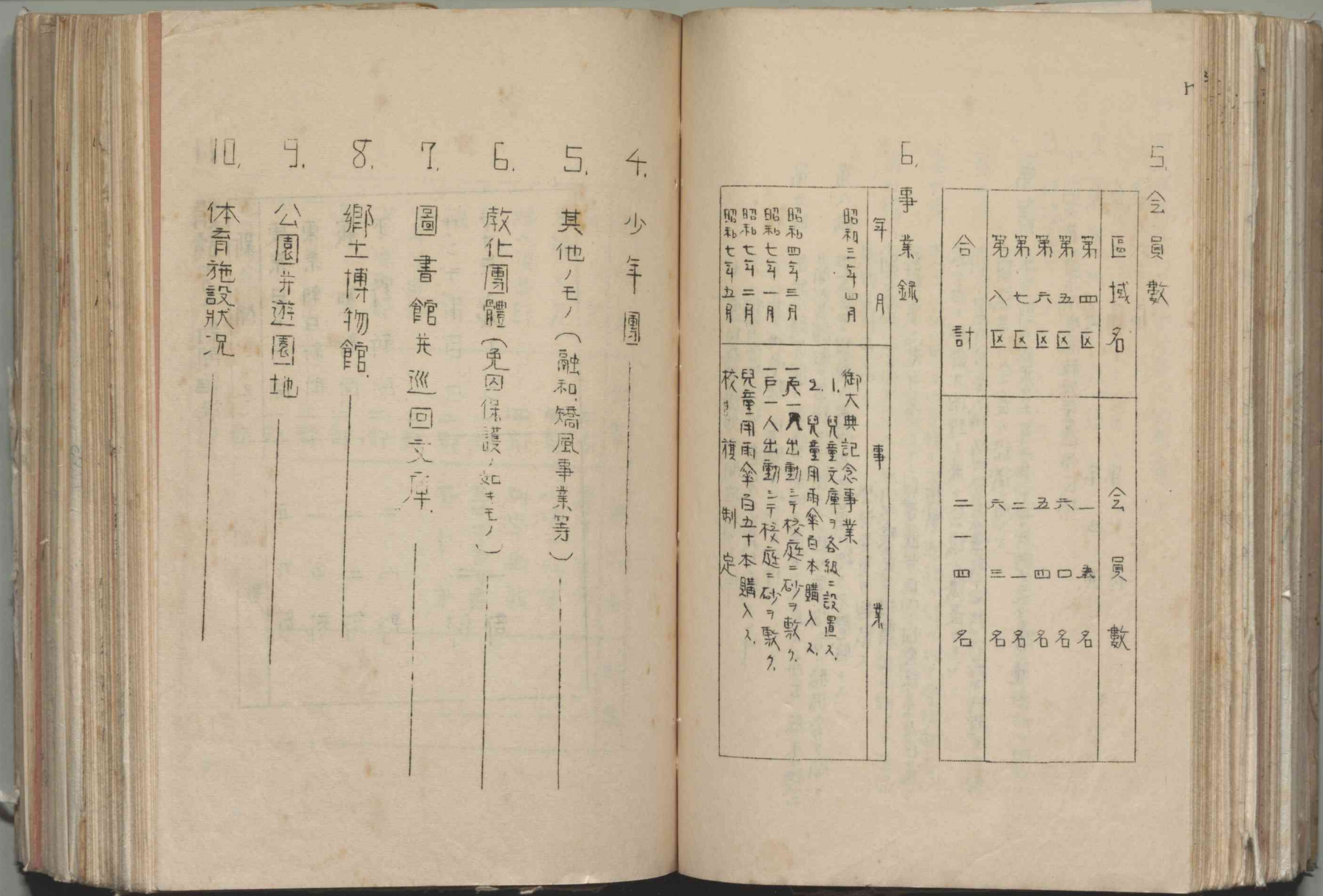
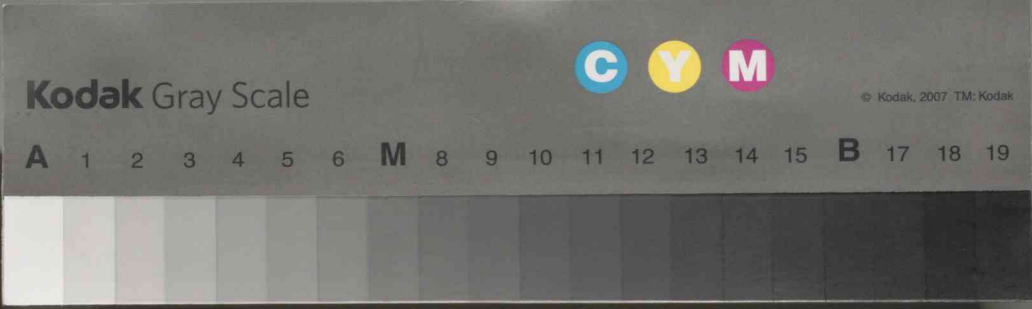




西大芦尋常小學校児童保護者會  
 創立年月日  
 大正十五年二月二十七日  
 事務所所在地  
 西大芦尋常小學校内  
 保護者會  
 第一條 本會ハ西大芦尋常小學校児童保護者會ト稱シ事務所同校内ニ置ク  
 第二條 本會ハ西大芦尋常小學校児童保護者會ト稱シ事務所同校内者ヲ以テ組織ス  
 第三條 本會ノ目的ハ東洋小學校ト家庭ト聯絡ヲ計リ以テ學校教育ノ實績向上ニ關シテ援助ヲシ児童敬養ノ目的ヲ達セシムルニ在リ  
 第四條 本會ノ目的ヲ遂行セニカクモ學校教育ノ主義方針ニ則リテ左記事項ヲ行フ  
 一 就學児童ノ奨励ニ關スル件  
 二 缺席児童ノ奨励ニ關スル件  
 三 貧困児童ノ保護ニ關スル件  
 四 兒童校外監督ニ關スル件  
 五 教育召集ニ關スル件  
 六 學校參觀勸誘ニ關スル件  
 七 通俗教育講演會開催ニ關スル件  
 八 補習學校生徒ノ募集及監督ニ關スル件  
 九 其他學校ノ依頼ヲ受ケタル件  
 第五條 前條ノ統一ヲ圖リ兼テ其ノ目的ヲ達セニカク爲メ毎年春季總會ヲ開キテ諸般ノ事項ヲ決議ス 但必要場合ハ臨時總會ヲ開ク  
 第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク但役員ハ總テ名譽職トス  
 會長 一名  
 副會長 一名  
 評議員 若干名  
 小學校長ヲ推戴ス  
 兒童通學区内ノ村會議員及區長ヲ推戴ス  
 第七條 會長ハ本會ヲ總理シ兼テ會議ノ議長トシ  
 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アリ時ハ之ヲ代理ス  
 評議員ハ會長ノ諮議ニ應ズ  
 本會則ハ大正十五年二月二十七日ヨリ之ヲ實施ス  
 西大芦尋常小學校児童通學区域  
 第一區  
 第二區  
 第三區  
 第四區  
 第五區  
 第六區  
 第七區  
 第八區





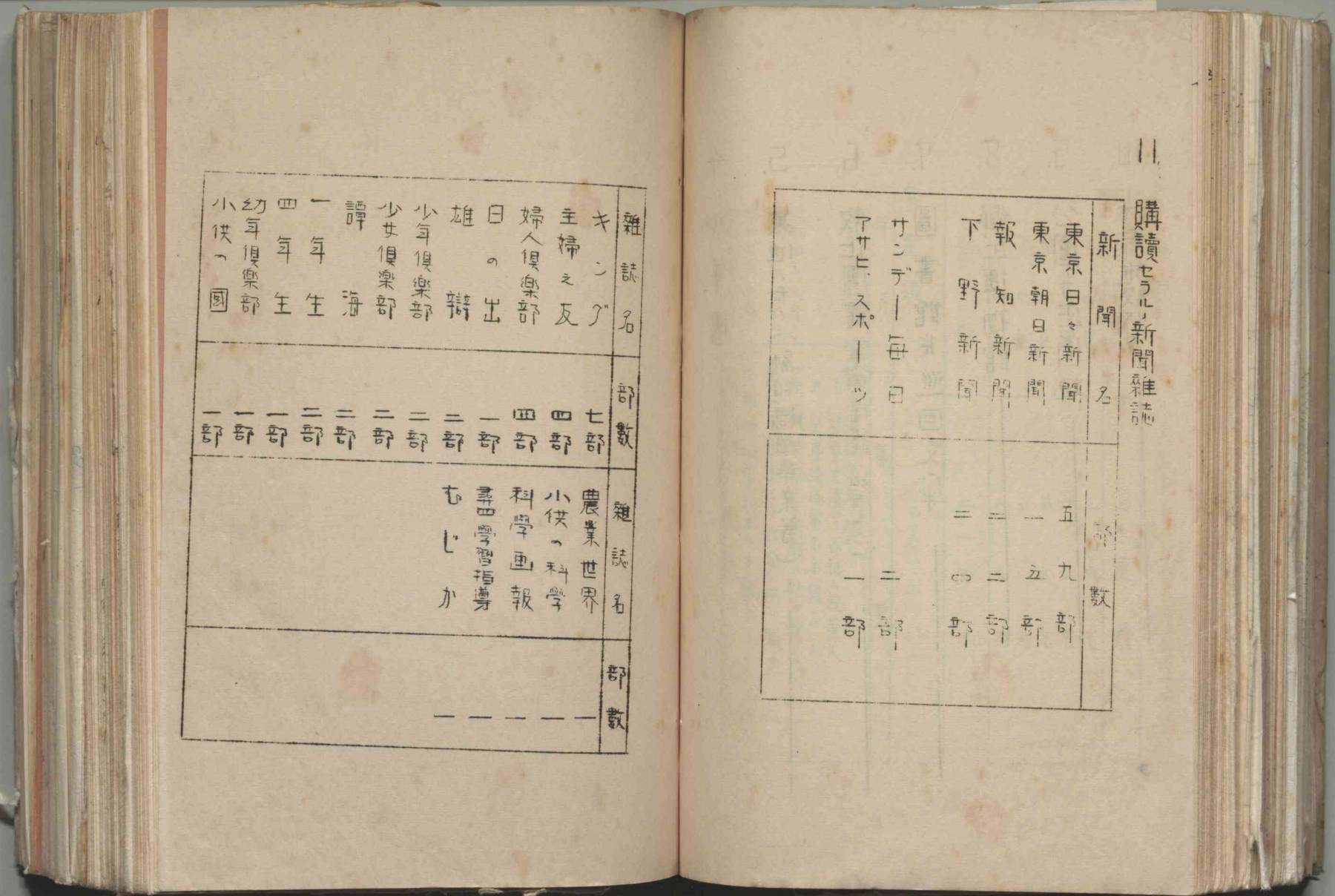
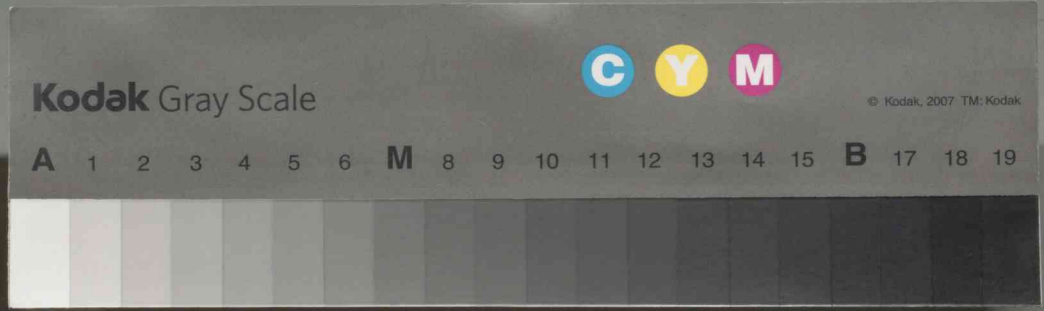


- 10. 体育施設状況
- 9. 公園並遊園地
- 8. 郷土博物館
- 7. 圖書館并巡回文庫
- 6. 教化團體(免因保護ノ如キモノ)
- 5. 其他ノモノ(融和矯風事業等)
- 4. 少年團

年 月	事業録					區 域 名	會 員 數
	昭和三十四年四月	昭和三十四年三月	昭和三十四年二月	昭和三十四年一月	昭和三十四年五月		
御大典記念事業	兒童文庫ヲ各級ニ設置ス	兒童用雨傘百本購入	一頁一頁出動ニテ校庭ニ砂ヲ敷ク	一戸一人出動ニテ校庭ニ砂ヲ敷ク	兒童用雨傘百五十本購入	校庭 複 制 定	二 一 四 名
事業							六 三 四 名
合計	八	七	六	五	四	區 區 區 區 區	一 六 二 五 六 一 名 名 名 名 名 數







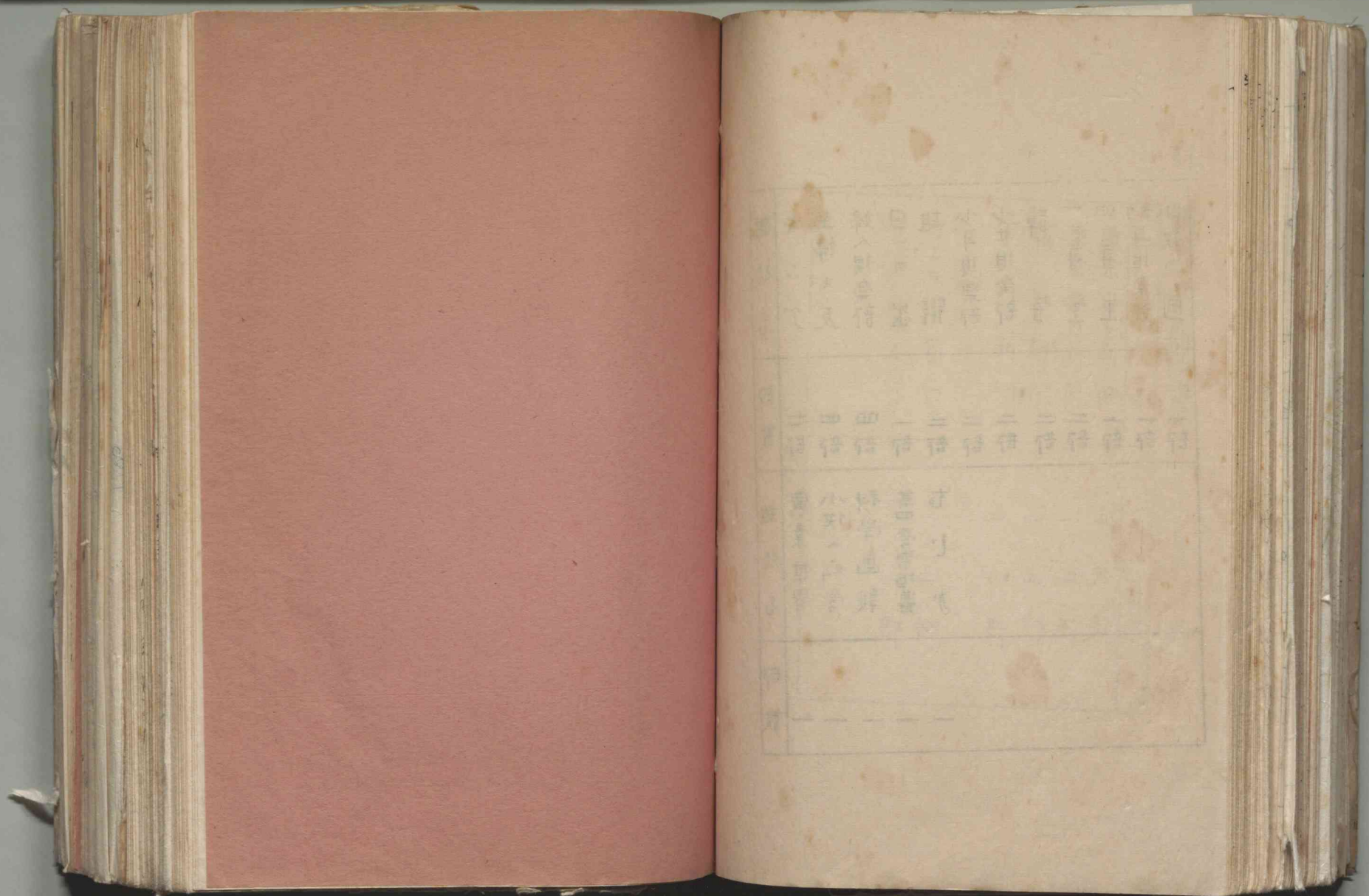
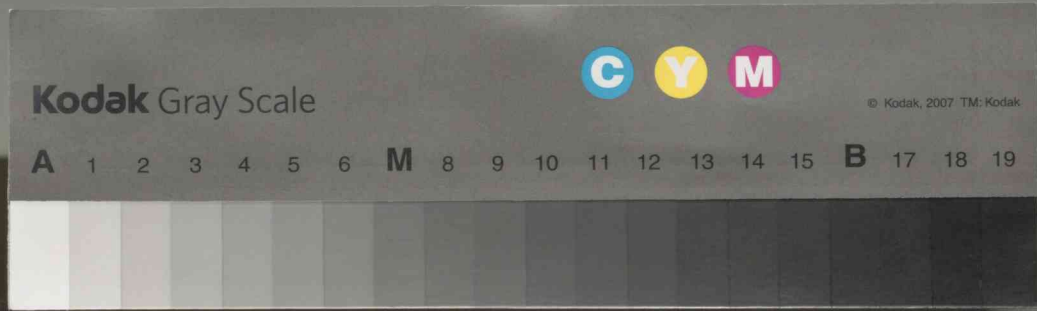
小供の國	幼年俱樂部	四年生	一年生	譚海	少女俱樂部	少年俱樂部	雄辯	日出	婦人俱樂部	主婦之友	キング	雜誌名
一部	一部	一部	二部	二部	二部	二部	一部	四部	四部	七部	七部	部數
							七 七 七	七 七 七	七 七 七	七 七 七	七 七 七	雜誌名
							七 七 七	七 七 七	七 七 七	七 七 七	七 七 七	部數

購読セル新聞雑誌

アサヒスポーツ	サンデー毎日	下野新聞	報知新聞	東京朝日新聞	東京日々新聞	新聞	新聞名
一部	二部	二部	二部	二部	二部	二部	部數





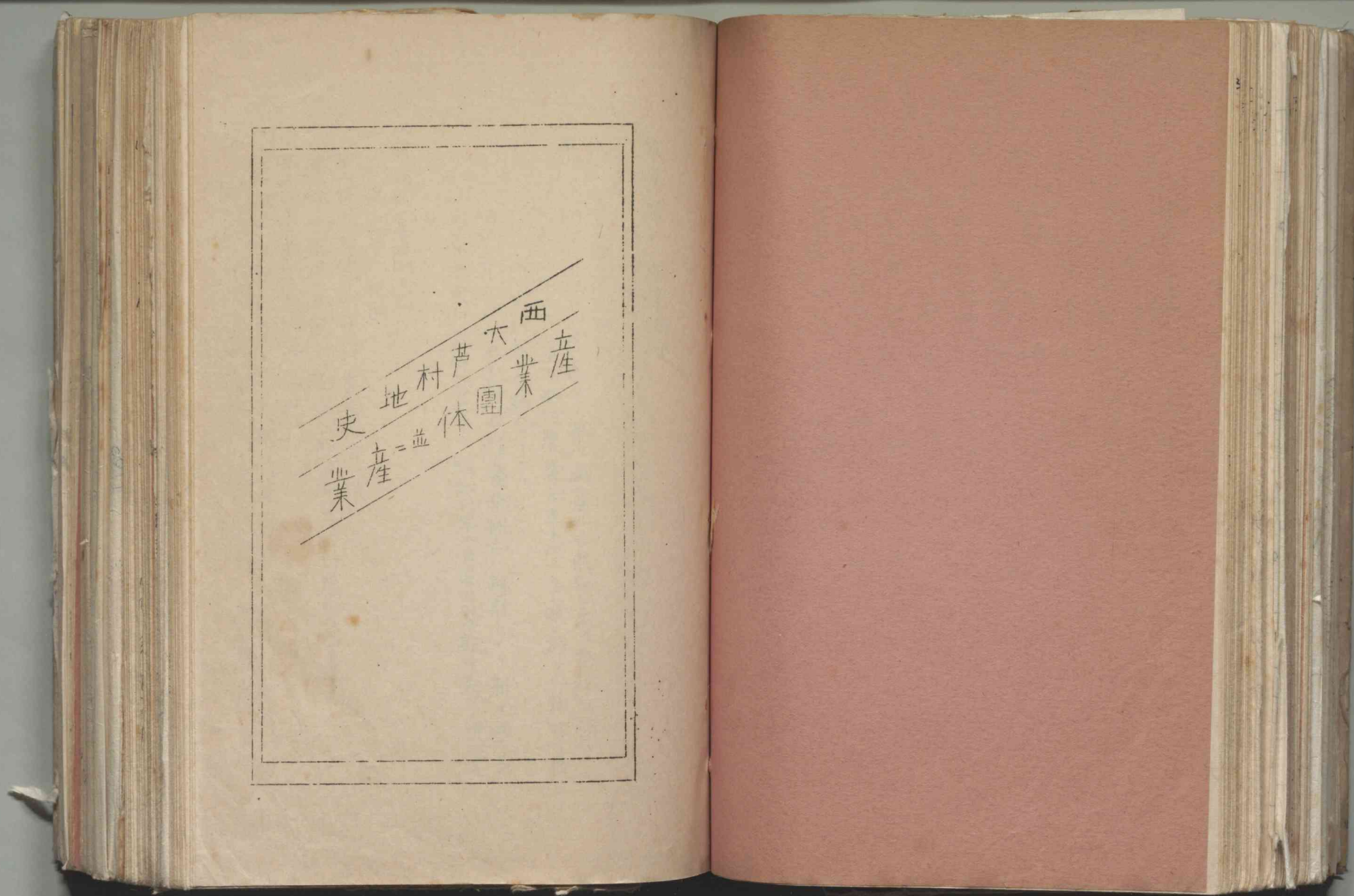
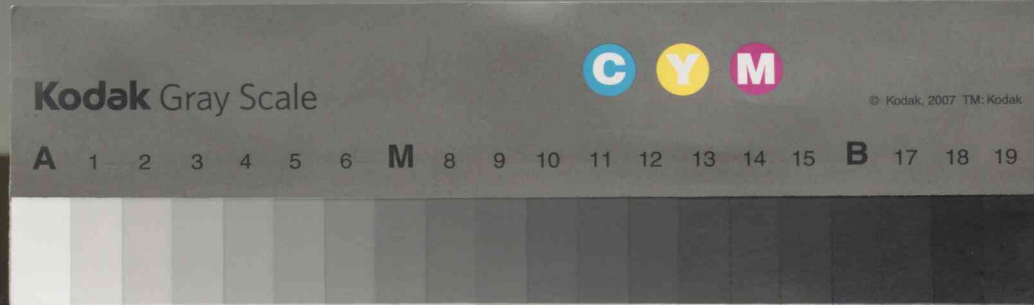
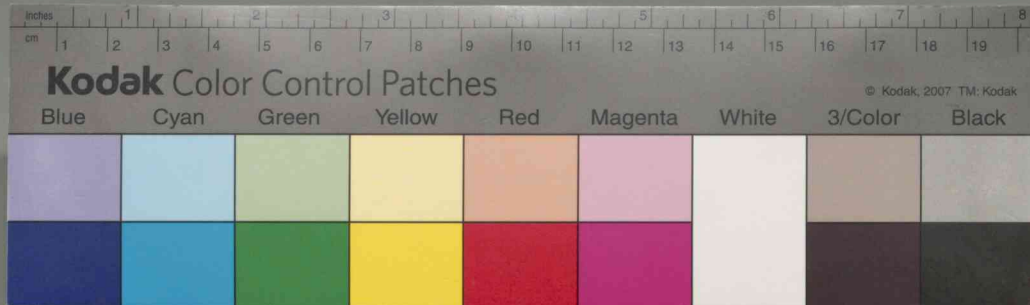


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13





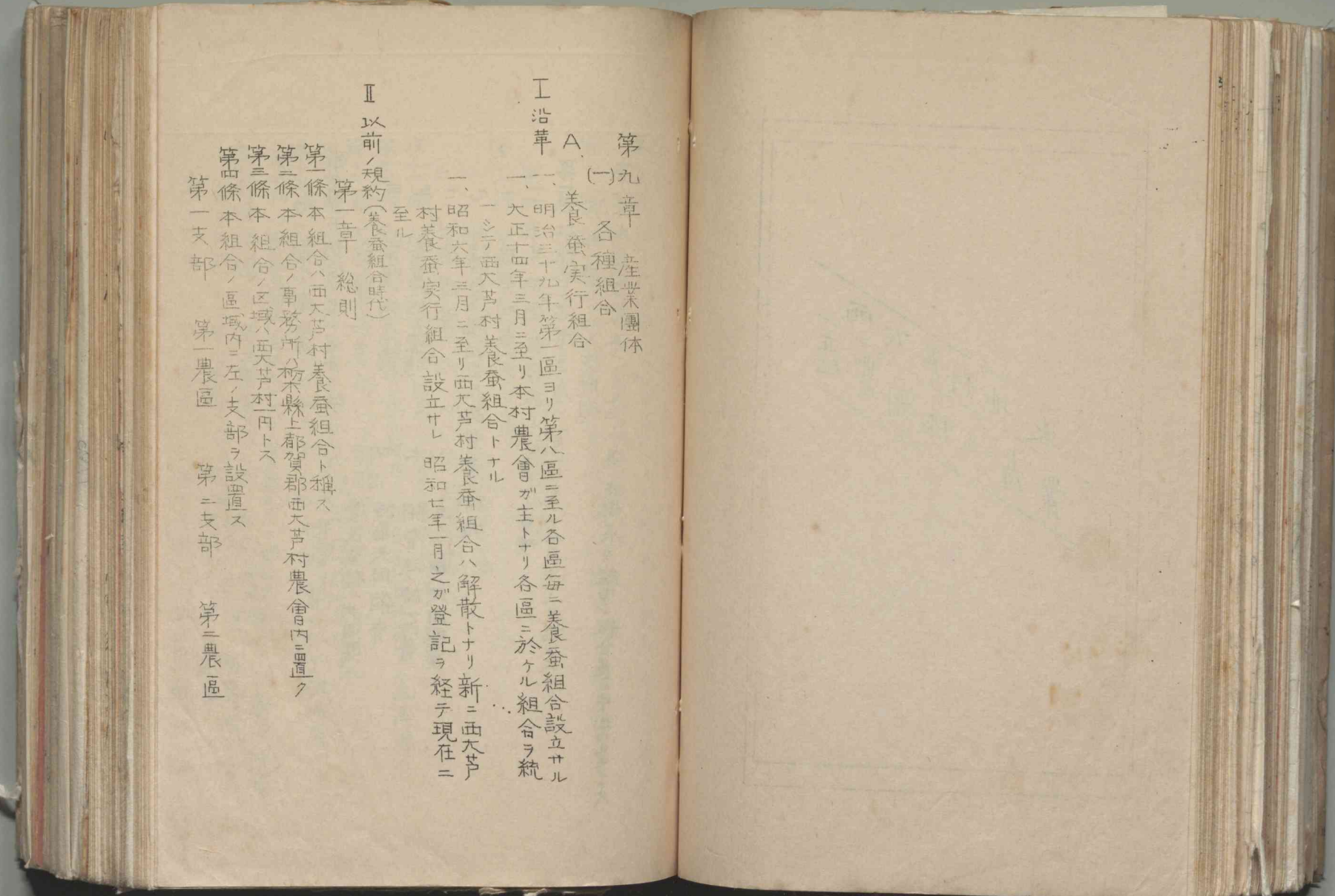
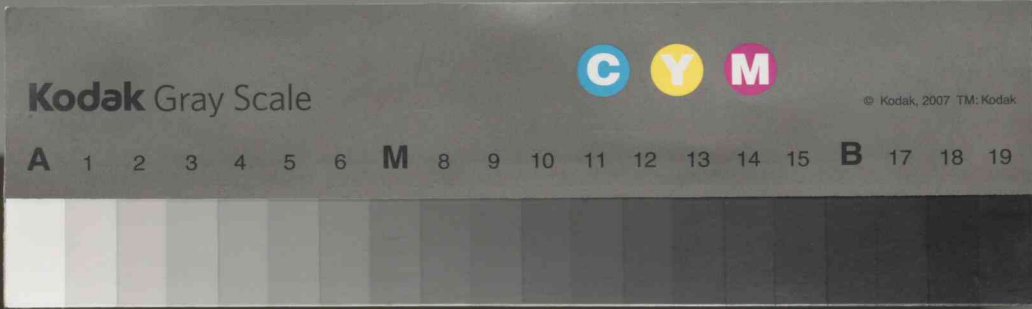


西大芦地区  
西大芦小学校  
産立業団並産立業史

492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料







第九章 産業團體

A. 各種組合

一、養蚕実行組合

明治三十九年第一區ヨリ第八區ニ至ル各區毎ニ養蚕組合設立サレ  
大正十四年三月ニ至リ本村農會が主トナリ各區ニ於ケル組合ヲ統  
一シテ西大芦村養蚕組合トナル  
昭和六年三月ニ至リ西大芦村養蚕組合ハ解散トナリ新ニ西大芦  
村養蚕実行組合設立サレ 昭和七年二月之ガ登記ヲ經テ現在ニ  
至ル

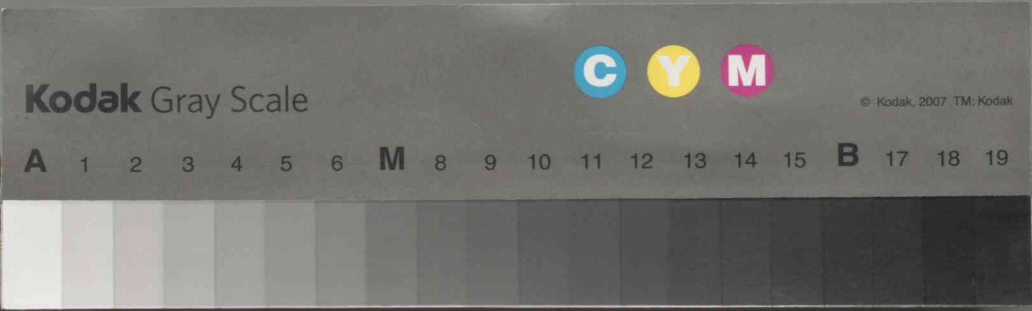
II 以前ノ規約(養蚕組合時代)

第一章 總則

- 第一條 本組合ハ西大芦村養蚕組合ト稱ス
- 第二條 本組合ノ事務所ハ栃木縣上野原郡西大芦村農會内ニ置ク
- 第三條 本組合ノ区域ハ西大芦村トス
- 第四條 本組合ノ區域内ニ左ノ支部ヲ設置ス
- 第一支部 第一農區
- 第二支部 第二農區







第九條 組合長前條ノ加入脱退申込アリタル時ハ其ノ支部長ノ意見ヲ徵シ  
 役員會ニ提出シ可否ヲ決スルモノトス

第十條 組合員ニテ組合ノ事業ヲ妨グルノ行爲アリタル時ハ役員會  
 ノ決議ヨリ除名ス

第四章 役員ノ職務權限選任及任期

第十一條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一、 組合長一名 二、 副組合長一名  
 三、 支部長八名 四、 評議員十六名

第十二條 組合長ハ總務ヲ管理シ組合ヲ代表スルモノトス

第十三條 副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキニ之ヲ代理ス

第十四條 支部長ハ其ノ支部一切ヲ統轄ス

第十五條 評議員ハ總會ニ提出スル議案ヲ審議ニ參與ス

第十六條 役員中組合長副組合長ハ評議員會ニ於テ組合員中ヨリ  
 之ヲ選任ス

第十七條 評議員ハ選舉ハ各支部ニ於テ組合員中ヨリ二名ヲ選舉  
 スルモノトシ中一名ハ支部長ヲ兼任スルモノトス但シ再選スルモ妨

第三支部 第三農區 第四支部 第四農區  
 第五支部 第五農區 第六支部 第六農區  
 第七支部 第七農區 第八支部 第八農區

第二章 事業

第六條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スルタメ左ノ事業ヲ行フ

一、 桑園ノ改良 二、 優良蚕種ノ共同購入  
 三、 蚕種ノ共同保護 四、 稚蚕共同飼育  
 五、 養蚕教師ノ僱聘 六、 飼育法ノ統一改善  
 七、 蚕病豫防 八、 生産繭ノ共同販賣

九、 講習會講話會品評會等ノ開催  
 十、 蚕業視察  
 十一、 其他蚕業改良上必要ナル事項

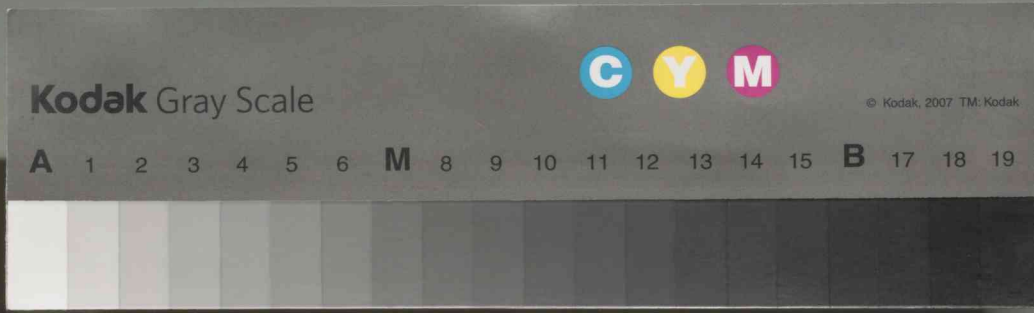
第七條 本組合ノ事業年度ハ一月一日ヨリ十二月三十一日迄トス

第三章 加入及脱退

第八條 本組合ニ加入セントスルモノハ其ノ支部長ヲ經由シ組合長ニ申出ツルモノトス







一 役員會  
 第二六條 役員會及評議員會ハ必要ニ應ジテ之ヲ開ク  
 第二九條 總會ハ組合長ニ於テ必要ト認ムル時之ヲ開ク  
 第三〇條 會議ノ召集ハ開會五日前ニ其ノ日時及場所等ヲ通知スル  
 モントス但シ緊急ノ要スル場合ハ此ノ限りニアラス  
 第三一條 會議ノ議長ハ本組合ヲ以テ之ニ充ツ 但シ組合長事終  
 ル時ハ副組合長之ヲ代理ス  
 第三二條 會議ハ召集スルキ總數ノ半數以上ノ出席スルニ非ガレバ開會  
 スルコトヲ得ズ 但シ同一事件ニ付キ再召集ノ場合ハ此ノ限りニア  
 ラズ  
 第三三條 會議ノ決議ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之レヲ決ス可否同數ナル時  
 ハ議長之ヲ決ス  
 第三四條 會議ニ建議セシムル時ハ組合員四分ノ一以上ノ賛成ヲ得テ議長ニ提  
 出スルモノトス  
 第六章 經費及財産  
 第三五條 本組合ノ經費及分賦收入方法ハ評議員會ノ定ル所ニヨル

第十八條 選舉セラレタル役員ハ正當ノ理由ナクシテ解任スルコトヲ得ズ  
 第十九條 役員ハ名譽職トス但シ總會ノ決議ヨリ報酬ヲ給スルコトヲ得  
 第二十條 前項役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四年トス 但シ補缺クダ  
 選任セラレタルモノハ前任者ノ残任期間トス  
 第二一條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク  
 幹事ニ名  
 第二二條 幹事ハ組合長ノ命ヲ得テ庶務及會計ヲ掌ル一名ハ會計ニ從  
 事シ一名ハ庶務ニ從事ス  
 第二三條 職員ハ組合長之ヲ任免ス  
 第二四條 職員ニ別ニ定ル所ニヨリ手當ヲ支給ス  
 第二五條 本組合ニ顧問ヲ置クコトヲ得  
 第二六條 顧問ハ本組合ノ事業ニ功勞アルモノ又ハ學識經驗アルモノヨリ  
 評議員會ニ於テ之ヲ推薦ス  
 第五章 會議  
 第二七條 本組合ノ會議ヲ左ノ三種トス







現在ニ於ケル養蚕會行組合規約

第一章 総則

第一條 本組合ハ養蚕會ニ関シ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ図ルヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ西大芦村養蚕會實行組合ト稱ス

第三條 本組合ノ地區ハ上都賀郡西大芦村一内トス

第四條 本組合ノ事務所ハ之上上都賀郡栗野村大字百十九番六拾番地置ク

第五條 本組合ハ地区内ノ養蚕者ヲ以テ組合員トス

第六條 本組合ノ目的ヲ達スルニシテ左ノ事業ヲ行フ

第七條 養蚕ノ指導ヲ奨励

第八條 掃立蚕種ノ統一

第九條 蚕種ノ共同購入ノ共同貯藏及共同催青

第十條 稚蚕ノ共同飼育

第十一條 稚蚕共同飼育所 稚蚕共同桑園ノ設置

第十二條 桑園ノ改良

第十三條 産繭ノ共同販賣

第十四條 養蚕ニ関スル必需品ノ共同購入

第十五條 本組合ヨリ榮スル大章ハ総テ組合名若シクハ組合長名ヲ以テス

第十六條 本組合ノ經費ハ組合長之ヲ保管シ必要ニ應ジシ之ヲ支拂フモトス

第十七條 本組合ノ庶務及會計ニ必要ナル書類ヲ備ヒ金銀ノ出納及處務ヲ明瞭ナラシムルモトス

第十八條 本則ハ評議員會ノ決議ヲ經ルニアラザレバ變更スル事ヲ得ズ

第十九條 本組合ハ左ノ場合ヲ除クノ外解散スルコトナシ

一 行政廳ノ命令

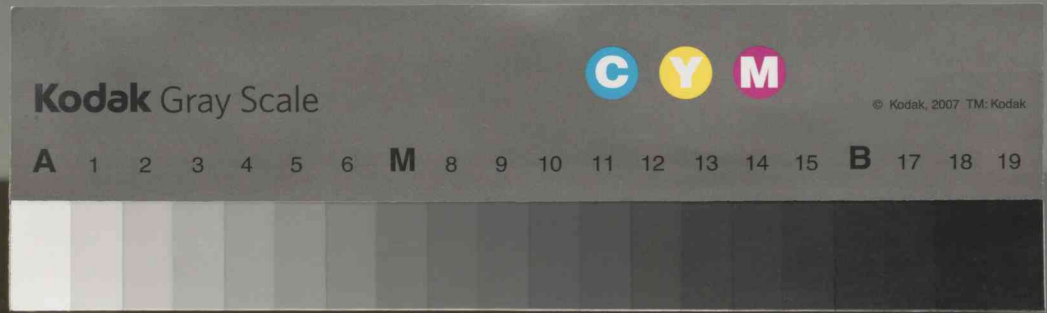
二 總會ノ決議

第二十條 本組合解散シタル時ハ役員其ノ精算人トナル

第二十一條 以上ノ規約ノ下ニ大正十四年三月 村内各區別ノ養蚕組合ガ統一ナル







九 登病又ハ桑樹病虫害、凍害等ノ豫防駆除  
 十 違番災害等ノ共済及共済基金ノ積立  
 十一 基本財産ノ造成  
 十二 備荒貯蓄  
 十三 講習会、講習会、等ノ開催  
 第十四 前各款ノ外組合ノ目的ヲ達スルタメ必要ナル事業  
 第十五 本組合ノ公告ハ組合ノ場ニ掲示シテ之ヲナス  
 第十六 本組合ニ加入セントスル者ハ其ノ氏名及住所並ニ其ノ旨ヲ記載シタル  
 書面ヲ組合ニ提出スルシ  
 第十七 理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨ヲ本へニ通知ス  
 第十八 正當ノ事由アルニ非サレバ理事ハ加入ノ申込ミヲ拒否コトヲ得ズ  
 第十九 組合員脱退セントスルトキハ少クモ三ヶ月前ニ其ノ旨ヲ記載シタル  
 書面ヲ組合ニ提出スルシ  
 第二十 死亡ニヨリ脱退シタル組合員ノ相続人が直ニ加入スルトキハ組合ニ對  
 シ被相続人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノトス  
 第二十一 組合員左ノ各款ノ一ニ該當スル時ハ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス  
 一 組合ノ業務ヲ妨グル所為アリタルトキ  
 二 犯罪其ノ他不正ノ所為ニヨリ組合ノ信用ヲ毀壞シタルトキ  
 三 組合前項ノ規定ニヨリ除名ヲ爲シタルトキハ本人ニ其旨ヲ通知ス  
 第三章 事業ノ執行  
 第一條 本組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス  
 第二條 事業執行ニ関スル細則ハ總會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム  
 第三條 本組合ハ手数料又ハ使用料ヲ徴收スルコトヲ得  
 第四條 前項ノ手数料又ハ使用料ハ毎年總會ニ於テ決議シタル範圍内ニ於テ理事  
 之ヲ定ム  
 第五條 本組合ハ技術員ヲ設置シ養蚕ノ指導ヲ行ハサシム  
 第六條 組合員ノ掃立ツキ養蚕種ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム  
 第七條 組合員ハ前項ノ規定ニ依リテ定メタル養蚕種ニ非サレバ掃立ツルコトヲ得ズ但シ特  
 別ノ事情ニ依リ理事ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限リニアラス  
 第八條 稚蚕共同飼育所及稚蚕共同桑園ノ設置及經營ニ付テハ事業執行  
 細則ニ定メ所ニ依リ之ヲ行フモノトス  
 第九條 本組合ハ組合員ノ桑園ニ付實態調査ヲ行ヒ之ニ基キテ桑園改良ニ

